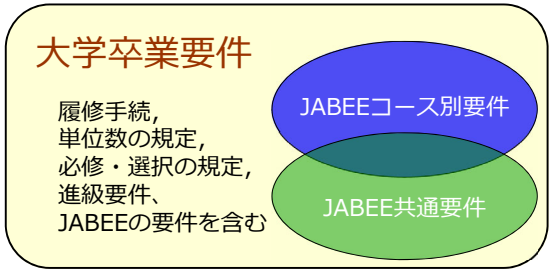
豊橋技術科学大学
建築・都市システム学課程

社会基盤コース
授業履修ガイダンス （Part 2）

- 大学の卒業要件にはJABEEプログラム修了要件が含まれる.
  ⇒ 卒業生はすべてJABEE修了生である.



学習・教育到達目標（社会基盤コース）

目指す技術者像
身に付ける知識･能力

(A)	幅広い人間性と考え方 自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力
(B)	技術者としての正しい倫理観と社会性 **実践的・創造的・指導的な技術者**としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力
(C)	技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力 技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力
(D)	技術を科学する分析力，理論的思考力，デザイン力，実行力
(D1)	社会基盤工学の学習に必要な数学力の基礎を身につける
(D2)	土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける
(D3)	社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し，創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する**創造的技術者**としての素養を身につける
(D4)	社会基盤工学に関わる幅広い専門知識を修得し，実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する**実践的技術者**としての素養を身につける
(D5)	社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み，チームとして課題を達成することのできる**実践的創造的技術者**としての素養を身につける
(E)	国内外において活躍できる表現力とコミュニケーション力 国の内外において、論文，口頭および情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力
(F)	最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力 つねに新しい技術を探求し，社会環境の変化に対応して生涯にわたって自発的に学習する能力

卒業（& JABEE修了）に求められる条件

1. 本学の卒業要件　← **大前提**
   履修要覧を参照（必要単位数，科目の取得）
2. JABEEに対応した修了要件
   - i. 取得単位数（ただし，1.の卒業要件を満たせばOK）
   - ii. JABEE分野別要件の達成
     - 「土木及び関連の工学分野/土木および土木関連分野」
   - iii. JABEE学習・教育到達目標の達成
     - 目標(A)～(F)
   - 上記ii，iiiについては，
     - 所定の科目の修得
     - 関連科目群の修得の積算

     などで評価・判定.

JABEEカルテ・JABEEカード

JABEEカルテ
- 学習・教育到達目標の達成度を確認するため，自己達成度確認表（通称：JABEEカルテ）を用いる
- 具体的な学習・教育到達目標と評価方法を記載

JABEEカード
- 全学生に配布（学習・教育到達目標の概要）
- 常時携帯する（５系JABEEホームページにも情報掲載）
- 系事務室や系の掲示板，会議室などに同様の内容を掲示

JABEEカルテとJABEEカードは更新される場合がある.
最新情報は，５系JABEEのホームページを参照されたい.
http://www.ace.tut.ac.jp/JABEE/JABEE_J.html

2. ＪＡＢＥＥに対応した修了要件

A. 取得単位数

4年間で124単位以上（学士学位）

- 1年次入学生　…卒業単位：130単位
- 3年次編入学生…卒業単位：130単位
  - 65単位（1，2年次相当分）を一括認定
    （ただし，個別に既修得単位数も確認する．65単位に満たない学生は，個別に指導．）
  - 3，4年で65単位を取得　→ 65単位＋65単位＝130単位

2. ＪＡＢＥＥに対応した修了要件

B. 分野別要件の達成

当該分野の知識・能力観点として，以下が考慮されていること．

土木工学の主要分野のうち，最低3分野以上を含むこと

「土木材料・施工・建設マネジメント」，「構造工学・地震工学・維持管理工学」，「地盤工学」，「水工学」，「土木計画学・交通工学」，「土木環境システム」

2. ＪＡＢＥＥに対応した修了要件

C. 学習・教育到達目標の達成

- 学習・教育到達目標(A)～(F)は，科目群または各科目と対応付けられている．
  「授業科目，学習・教育到達目標，分野別要件との対応表 」を参照．
- 学習・教育到達目標(A)～(F)の達成度評価は，科目数または特定科目の修得によって判定される．
- 分野別要件の達成度は，科目数または特定科目の修得によって判定される．
- 達成状況に関する自己評価（目標・達成度評価）JABEEカルテ

中間評価書　これまでの状況把握と来期以降への目標

最終報告書　プログラム全体を通しての自己評価
（自身が目指す技術者像など含む）

社会基盤コース
学習・教育到達目標と評価方法（JABEEカルテ）

学習・教育到達目標		評価方法	
		1年次入学生	3年次編入学生
(A)	幅広い人間性と考える力 自然と人間との共生を目的とし，地球的な視点から多面的に物事を考える能力	人文科学関連科目(ビジネス実践含)および外国語科目(仏，独，中)から2科目以上取得する．	編入学以前(例えば，高専4，5年次)に取得した人文科学関連科目も併せて，人文科学関連科目(ビジネス実践含)*および外国語科目(仏，独，中)から2科目以上取得する．
(B)	技術者としての正しい倫理観と社会性 実践的・創造的・指導的な技術者としての社会的・倫理的責任を自覚し，技術的課題を解決する能力	技術者倫理を取得する． 社会科学関連科目(ビジネス実践含)または「環境マネジメント」，「建設法規」から2科目以上取得	技術者倫理を取得する． 編入学以前(例えば，高専4，5年次)に取得した社会科学関連科目も併せて，社会科学関連科目(ビジネス実践含)*または「環境マネジメント」，「建設法規」から2科目以上取得
(C)	技術を科学的にとらえるための基礎力とその応用力 技術を裏付ける科学に関する基礎的知識の習得とそれらを応用する能力	環境科学，生命科学，応用数学Ⅰ，Ⅱ，都市空間デザイン演習を取得する． 上記科目を含めて，数学・自然科学・情報技術に関する科目を5科目以上取得する．	環境科学，生命科学，応用数学Ⅰ，Ⅱ，都市空間デザイン演習を取得する． 上記科目を含めて，編入学以前(例えば，高専4，5年次)に取得した数学・自然科学・情報技術に関する科目も併せて，5科目以上取得する．
(D)	技術を科学する分析力，論理的思考力，デザインカ，実行力		
(D1)	社会基盤工学の学習に必要な数学力の基礎を身につける	土木数理演習Ⅰ，Ⅱを取得する．	土木数理演習Ⅰ，Ⅱを取得する．
(D2)	土木工学分野の基礎科目を学習することで，社会基盤工学の基礎知識を身につける	土木工学の主要6分野の中から，3分野以上を取得(各分野，3科目以上取得)．また，社会基盤工学(専門科目)に関する科目を12科目以上取得する．	土木工学の主要6分野の中から，3分野以上を取得(各分野は編入学以前(例えば，高専4，5年次)に取得した本学1，2年次科目相当の科目も含めて，3科目以上取得)．また，社会基盤工学(専門科目)に関する科目を，編入学以前に取得した科目も含めて12科目以上取得する．
(D3)	社会基盤工学の専門知識に加えて，建築分野の専門知識や人文・社会科学の知識を修得し，創造性を発揮して課題を探求，組み立て，解決することのできるデザイン力を有する創造的技術者としての素養を身につける	プロジェクト研究，卒業研究を取得する． 課程共通選択必修科目Ⅱおよび建築コース選択必修科目Ⅲから2科目以上取得する	卒業研究を取得する． 課程共通選択必修科目Ⅱおよび建築コース選択必修科目Ⅲから2科目以上取得する
(D4)	社会基盤工学に関わる幅広い専門知識を修得し，実務上の問題を理解し，制約条件の下で適切に対応できるマネジメント力を有する実践的技術者としての素養を身につける	建設工学実験，実務訓練を取得する． 構造実験または環境実験，実務訓練を取得する※．	実務訓練を取得する． 構造実験または環境実験，実務訓練を取得する※※．
(D5)	社会基盤工学に関する課題に対して，複数のメンバーで構成されたチームで取り組み，チームとして課題を達成することのできる実践的創造的技術者としての素養を身につける	測量学Ⅰ実習，測量学Ⅱ演習，実務訓練を取得する	測量学Ⅱ演習，実務訓練を取得する
(E)	国内外において活躍できる表現力とコミュニケーション力 国の内外において，論文，口頭および情報メディアを通じて，自分の論点や考えなどを的確に表現し，議論や交渉などをリードするコミュニケーション能力	語学(英語，または日本語(GAC留学生))を8科目以上取得する**．国語表現法4単，日本文化，技術科学日本語(1,II)，日本語上級IA(読解),IB(読解),IIA(読解),IIB(読解)の中から1科目以上取得する．建設学対話，建設英語，実務訓練を取得する．	語学(英語，または日本語(GAC留学生))を2科目以上取得する**．建設英語，実務訓練を取得する． 国語表現法4単，日本文化，技術科学日本語(1,II)，日本語上級IA(読解),IB(読解),IIA(読解),IIB(読解)の中から1科目以上取得する．
(F)	最新の技術や社会環境の変化に対する探求心と持続的学習力 つねに新しい技術を探求し，社会環境の変化に対応して生涯にわたって自発的に学習する能力	プロジェクト研究，卒業研究，建設工学特別講義を取得する．	卒業研究，建設工学特別講義を取得する．

(C)「応用力」を「活用力」，(E)「・」を「と」として表記する場合がある．

*外国人留学生は，特例科目の日本語関連科目で読み替え可 **検定英語，検定日本語の読み替え可（2科目相当）
※2018年度以前の1年次入学者
※※2019年度以前の3年次編入学者もしくは2020年度以降の3年次編入学者で，建築・土木分野以外の高等専門学校の学科および建築・土木分野の専門学校または短期大学の卒業者

2022年4月説明会資料